

じゅ 受	けん 検	ばん 番	ごう 号	し 氏	めい 名

2電一次(後)

令和7年度(後期)

2級電気工事施工管理技術検定

第一次検定問題

[注 意 事 項]

1. ページ数は、表紙を入れて27ページです。
2. 試験時間は、10時15分から12時45分までです。
3. 解答は、次によってください。
 - 1) [No. 1]から[No. 4]までの4問題は、全問解答してください。
 - 2) [No. 5]から[No. 10]までは、6問題のうちから4問題を選択し、解答してください。
 - 3) [No. 11]から[No. 29]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。
 - 4) [No. 30]から[No. 35]までは、6問題のうちから3問題を選択し、解答してください。
 - 5) [No. 36]から[No. 40]までの5問題は、全問解答してください。
([No. 37]から[No. 40]の4問題は、施工管理法の能力問題です。)
 - 6) [No. 41]から[No. 50]までは、10問題のうちから6問題を選択し、解答してください。
 - 7) [No. 51]から[No. 62]までは、12問題のうちから8問題を選択し、解答してください。
4. 選択問題の解答数が指定数を超えた場合は、減点となります。
5. 問題は、四肢択一式又は五肢択一式です。正解と思う肢の番号を、塗りつぶしてください。
6. 解答は、別の解答用紙に、HBの芯を用いたシャープペンシル又はHBの鉛筆で記入してください。それ以外のボールペン、サインペン、色鉛筆などを使用した場合は、採点されません。
7. 解答のマークを訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
消しかたが十分でないと指定数を超えた解答となり、減点となります。
8. 解答用紙は、雑書きをしたり、汚したり、折り曲げたりしないでください。
9. この問題用紙の余白は、計算などに使用することができます。
10. 漢字に付したふりがなは補足であり、異なる読み方の場合があります。
11. この問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者は持ち帰ることができます。
途中退席者や希望しない方の問題用紙は回収します。
12. 問題文中に「電気設備の技術基準とその解釈」とあるのは、「電気設備に関する技術基準を定める省令」及び「電気設備の技術基準の解釈」のことをいいます。なお、「電気設備の技術基準の解釈」の第7章「国際規格の取り入れ」は除くものとします。

※ 問題番号 [No. 1] から [No. 4] までの 4 問題は、全問解答してください。

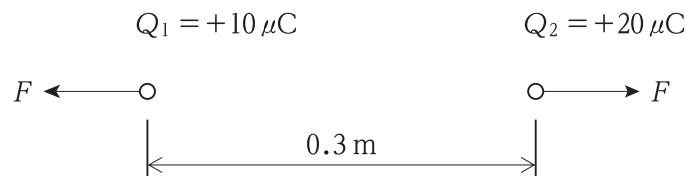
[No. 1] ある金属体の温度が 20°C のとき、その抵抗値が $10\ \Omega$ である。この抵抗値が $12\ \Omega$ となるときの温度 $[\text{C}]$ として、正しいものはどれか。

ただし、抵抗温度係数は $0.004^{\circ}\text{C}^{-1}$ で一定とし、外部の影響は受けないものとする。

1. 60°C
2. 65°C
3. 70°C
4. 75°C

[No. 2] 図に示すように、真空中に点電荷 Q_1 及び Q_2 がある。この二つの点電荷の間に働く静電力 F の大きさ $[\text{N}]$ として、正しいものはどれか。

ただし、真空の誘電率を ϵ_0 とするとき、 $4\pi\epsilon_0 = \frac{1}{9 \times 10^9} \text{ F/m}$ であるものとする。

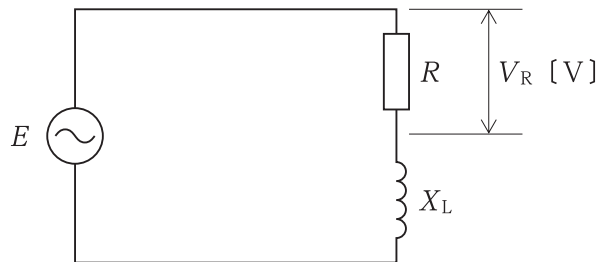


1. $10\ \text{N}$
2. $20\ \text{N}$
3. $30\ \text{N}$
4. $50\ \text{N}$

※ 問題番号 [No. 1] から [No. 4] までの 4 問題は、全問解答してください。

[No. 3] 図に示す単相交流回路において、抵抗 R の両端の電圧 V_R の値 [V] として、正しいものはどれか。

ただし、電圧 E の実効値は 100 V、抵抗 R は $8\ \Omega$ 、誘導性リアクタンス X_L は $6\ \Omega$ とする。



1. 20 V
2. 40 V
3. 60 V
4. 80 V

[No. 4] 定格容量が $100\text{ kV}\cdot\text{A}$ と $300\text{ kV}\cdot\text{A}$ の変圧器を並行運転し、 $200\text{ kV}\cdot\text{A}$ の負荷に供給するとき、各変圧器の負荷分担の組合せとして、適当なものはどれか。

ただし、2 台の変圧器は並行運転の条件を満たしているものとする。

$100\text{ kV}\cdot\text{A}$ 変圧器	$300\text{ kV}\cdot\text{A}$ 変圧器
----------------------------------	----------------------------------

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 1. $25\text{ kV}\cdot\text{A}$ | $175\text{ kV}\cdot\text{A}$ |
| 2. $50\text{ kV}\cdot\text{A}$ | $150\text{ kV}\cdot\text{A}$ |
| 3. $75\text{ kV}\cdot\text{A}$ | $125\text{ kV}\cdot\text{A}$ |
| 4. $100\text{ kV}\cdot\text{A}$ | $100\text{ kV}\cdot\text{A}$ |

※ 問題番号 [No.5] から [No.10] までは、6 問題のうちから 4 問題を選択し、解答してください。

[No. 5] 発電用に用いられる次の記述に該当するダム^{けいしき}の形式として、最も適切なものはどれか。

「コンクリートで築造され、水圧などの外力を主に両岸の岩盤で支える構造で、両岸の幅が狭く岩盤が強固な場所に造られる。」

1. 重力式ダム
2. アースダム
3. アーチ式ダム
4. ロックフィルダム

[No. 6] 電力系統における変電所の役割に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 電力を有効に利用できるように電力の流れを調整する。
2. 負荷変動に対し供給電圧を一定にするように調整する。
3. 系統の周波数が一定になるように出力制御する。
4. 事故点を検出し、系統から切り離して事故の波及を防ぐ。

[No. 7] 低圧配電系統における電気方式において、単相 2 線式と比較した三相 3 線式の特徴として、最も不適当なものはどれか。

ただし、線間電圧、力率及び配電距離は同一とし、材質と太さが同じ電線を用いるものとする。

1. 電線 1 線あたりの送電電力は小さくなる。
2. 三相交流から単相交流を取り出すことができる。
3. 送電電力が等しい場合には、送電損失が小さくなる。
4. 回転磁界が容易に得られ、電動機の使用に適している。

※ 問題番号 [No.5] から [No.10] までは、6 問題のうちから 4 問題を選択し、解答してください。

[No. 8] 配電系統に関する用語として、次の計算式により求められるものはどれか。

$$\frac{\text{最大需要電力 [kW]}}{\text{設備容量 [kW]}} \times 100 [\%]$$

1. 需要率
2. 不等率
3. 負荷率
4. 利用率

[No. 9] LED 照明の特徴に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 振動や衝撃に強い。
2. 蛍光ランプと比較して、長寿命である。
3. シーリングライト形は、器具とランプが一体化されているものがある。
4. 周囲温度からの影響を受けやすい。

[No. 10] 次の記述に該当する電気加熱方式の用語として、最も適当なものはどれか。

「平行平板電極間に被加熱物を置いて、この電極間に加える高周波電界によって加熱する方式」

1. 誘電加熱
2. 誘導加熱
3. 抵抗加熱
4. 赤外線加熱

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。

[No. 11] 火力発電所の燃焼ガスによる大気汚染を軽減するために用いられる装置として、最も不適当なものはどれか。

1. 脱気器
2. 排煙脱硝装置
3. 電気集じん器
4. 排煙脱硫装置

[No. 12] 変電所の母線結線方式に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 単母線は、母線事故時に全停電となる。
2. 単母線は、二重母線に比べ、機器の点検、系統運用が容易である。
3. 二重母線は、上位系統の変電所に一般的に採用される。
4. 二重母線は、単母線に比べ、所要機器が多い。

[No. 13] 送電線路の過電流継電器(OCR)に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 事故検出に用いられる。
2. 短絡保護や過負荷保護に用いられる。
3. 系統が複雑になると時限整定が容易になる。
4. 入力電流が整定値以上になると動作する。

[No. 14] 架空送電線路に取り付けるダンパの目的として、最も適当なものはどれか。

1. 電線の振動を防止する。
2. 電線を支持点付近で補強する。
3. 電線相互の接近・接触を防止する。
4. フラッシュオーバーによるがいしの破損を防止する。

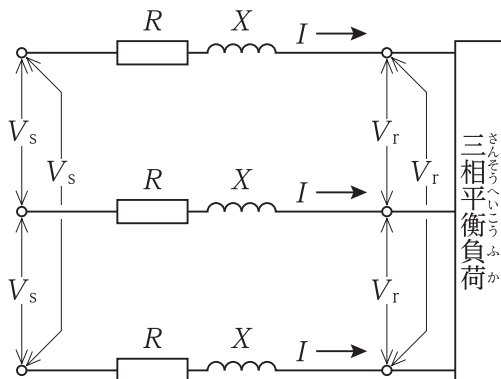
※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。

[No. 15] 図に示す三相 3 線式配電線路の送電端電圧 V_s [V] と受電端電圧 V_r [V] の間の電圧降下 v [V] を表す簡略式として、正しいものはどれか。

ただし、各記号は、次のとおりとする。

R : 1 線当たりの抵抗 [Ω] X : 1 線当たりのリアクタンス [Ω]

$\cos \theta$: 負荷の力率 I : 線電流 [A]



1. $v = \frac{1}{\sqrt{3}} I (R \sin \theta + X \cos \theta)$ [V]
2. $v = \frac{1}{\sqrt{3}} I (R \cos \theta + X \sin \theta)$ [V]
3. $v = \sqrt{3} I (R \sin \theta + X \cos \theta)$ [V]
4. $v = \sqrt{3} I (R \cos \theta + X \sin \theta)$ [V]

[No. 16] 配電系統に生じる電力損失の軽減対策として、最も不適当なものはどれか。

1. 配電電圧を高くする。
2. 給電点を負荷の中心にする。
3. 絶縁監視装置を設ける。
4. 電灯負荷用では、単相 3 線式の配電方式を採用する。

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。

[No. 17] 高圧架空配電線路及び機器の保護に用いられるものとして、最も不適当なものはどれか。

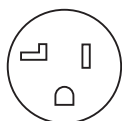
1. 避雷器
2. 高圧真空遮断器
3. 高圧カットアウト
4. 静止形無効電力補償装置

[No. 18] 配電系統の電圧調整に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

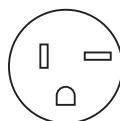
1. 変電所の送出電圧を調整する。
2. 柱上変圧器の適切なタップを選定して二次側電圧を調整する。
3. 電圧降下が大きい配電線は中間地点に線路電圧調整器を設置する。
4. 系統の力率を進ませるために分路リアクトルを接続し電圧を調整する。

[No. 19] 単相 200 V 回路に使用する定格電流 20 A の接地極付コンセントの極配置として、
「日本産業規格(JIS)」上、正しいものはどれか。

1.



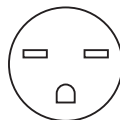
2.



3.



4.

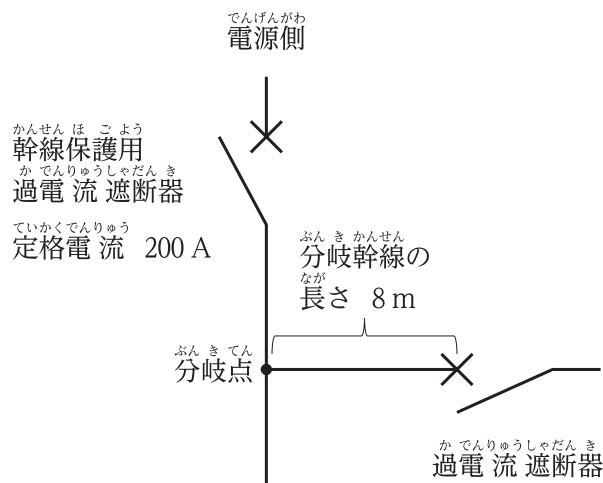


※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。

[No. 20] 電動機^{でんどうき}のみに至る低圧電路^{いた ていあつでんろ}に施設^{しせつ}する過電流遮断器^{か でんりゅうしゃだんき}に関する記述^{かん きじゆつ}として、「電気設備の技術基準とその解釈」^{ぎじゆつ きじゆん}上^{かいしゃく}、誤^{じょう}っているものはどれか。
ただし、低圧電路^{ていあつでんろ}は低圧幹線^{ていあつかんせん}を除くものとする。

1. 過負荷保護装置^{か ふ か ほ ごそうち}は、電動機^{でんどうき}が焼損^{しょうそん}するおそれがある過電流^{か でんりゅう}を生じた場合に、自動的^{じ どうてき}にこれを遮断^{しゃだん}するものとする。
2. 短絡保護専用遮断器^{たんらく ほ ごせんようしゃだんき}は、過負荷保護装置^{か ふ か ほ ごそうち}が短絡電流^{たんらくでんりゅう}によって焼損^{しょうそん}する前に、当該短絡電流^{とうがいたんらく でんりゅう}を遮断^{しゃだん}する能力^{のうりよく}を有^{ゆう}するものとする。
3. 短絡保護専用遮断器^{たんらく ほ ごせんようしゃだんき}は、定格電流^{ていかくでんりゅう}の1倍^{ばい}の電流^{でんりゅう}で自動的^{じ どうてき}に動作^{どうさ}するものとする。
4. 過負荷保護装置^{か ふ か ほ ごそうち}と短絡保護専用遮断器^{たんらく ほ ごせんようしゃだんき}は、専用の1^{せんよう ひつ}の箱^{はこ}の中^{なか}に収めるものとする。

[No. 21] 図^ずに示す定格電流^{しめ ていかくでんりゅう} 200 A の過電流遮断器^{か でんりゅうしゃだんき}で保護^{ほご}された低圧屋内幹線^{ていあつおくないかんせん}との分岐点^{ぶんきてん}から、分岐幹線^{ぶんきかんせん}の長さ^{なが}が 8 m の箇所^{かしょ}に過電流遮断器^{か でんりゅうしゃだんき}を設ける場合^{もう}、分岐幹線^{ぶんきかんせん}の許容電流^{きょようでんりゅう}の最小値^{さいしょうち}として、「電気設備の技術基準とその解釈」^{でんきせつび}上^{ぎじゆつ きじゆん}、正^{かいしゃく}しいものはどれか。



1. 50 A
2. 70 A
3. 90 A
4. 110 A

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。

[No. 22] 高圧の電路に使用する高圧ケーブルの太さを選定する際の検討項目として、最も関係のないものはどれか。

1. 許容電流
2. 短絡電流
3. 地絡電流
4. 主遮断装置の種類

[No. 23] 建築物等の雷保護システムに関する用語として、「日本産業規格(JIS)」上、最も関係のないものはどれか。

1. 架空地線
2. 等電位ボンディング
3. 保護角法
4. 接地極

[No. 24] 需要場所に施設する高圧地中電線路に関する記述として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、誤っているものはどれか。

ただし、地中電線路の長さは15mを超えるものとし、需要場所には、小規模事業用電気工作物が設置されていないものとする。

1. 電線にケーブルを使用し、管路式により施設する。
2. 管路式の場合、電圧の表示を省略した埋設表示シートを施設する。
3. 暗きょ式の場合、地中電線に耐燃措置を施す。
4. 直接埋設式の場合、地中電線を堅ろうなトラフに収める。

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。

[No. 25] 自動火災報知設備の P 型 2 級受信機(複数回線)に関する記述として、「消防法」上、誤っているものはどれか。

1. 予備電源は、密閉型蓄電池であること。
2. 導通試験装置による試験機能を有しなければならない。
3. 火災表示試験装置による試験機能を有しなければならない。
4. 発信機との間で電話連絡をすることができる装置を設けなくてもよい。

[No. 26] 次の建築設備のうち、予備電源を設けなければならない設備として、「建築基準法」上、定められていないものはどれか。

1. 電源を必要とする排煙設備
2. 非常用の照明装置
3. 非常用エレベーター
4. エスカレーター

[No. 27] 構内情報通信網(LAN)に関する次の記述に該当する機器として、最も適切なものはどれか。

「UTP ケーブルと光ファイバケーブル間での信号の変換を主たる機能とする装置」

1. ルータ
2. スイッチングハブ
3. レイヤ3スイッチ
4. メディアコンバータ

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。

[No. 28] 電車線のちょう架方式のうち、大容量区間の本線に用いられるものとして、最も不適当なものはどれか。

1. 直接ちょう架式
2. き電ちょう架式
3. ツインシンプルカテナリ式
4. コンパウンドカテナリ式

[No. 29] 光ケーブル地中配線の敷設に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

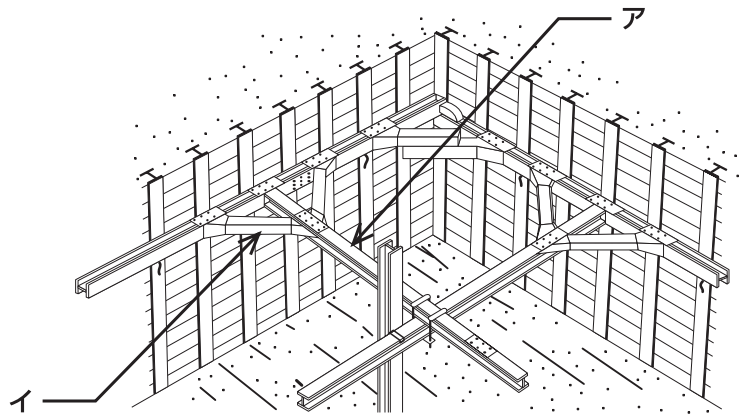
1. 光ケーブル地中配線を行う前に、管路徑に合ったマンドリル又はテストケーブルを用いて通過試験を行う。
2. ハンドホールごとに人を配置し、連絡を取り合い、ケーブルの許容張力及び許容曲率を確認しながら施工する。
3. ハンドホール内では、接続部及び引き通し部ともに光ケーブルに必要な長を確保し、固定金物へ固定する。
4. クロージャ内の防水のため、気圧を高めて密封された器内の気密が十分か、確認の試験を行う。

※ 問題番号 [No.30]から[No.35]までは、6 問題のうちから 3 問題を選択し、解答してください。

[No. 30] 換気設備に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 便所は、臭気が他室に漏れないように負圧にする。
2. 厨房は、燃焼空気を確保するために正圧にする。
3. シャワー室の換気を、第3種換気方式とする。
4. 電気室の換気を、第1種換気方式とする。

[No. 31] 図に示す山留め(土留め)支保工のうち、アとイの名称の組合せとして、適当なものはどれか。



- | | ア | イ |
|----|-----|------|
| 1. | 腹起し | 中間杭 |
| 2. | 腹起し | 火打ち梁 |
| 3. | 切梁 | 中間杭 |
| 4. | 切梁 | 火打ち梁 |

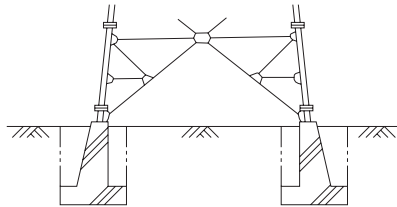
※ 問題番号 [No.30]から[No.35]までは、6問題のうちから3問題を選択し、解答してください。

[No. 32] 建設作業とその作業に使用する建設機械の組合せとして、最も不適当なものはどれか。

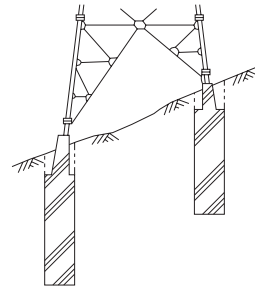
- | | けんせつ さぎょう
建設作業 | けんせつ きかい
建設機械 |
|----|-------------------|------------------|
| 1. | くっさく
掘削 | クラムシェル |
| 2. | せいち
整地 | ブルドーザ |
| 3. | さくがん
削岩 | ブレーカ |
| 4. | しめかた
締固め | モータグレーダ |

[No. 33] 図に示す送電用鉄塔基礎のうち、深礎基礎として、適当なものはどれか。

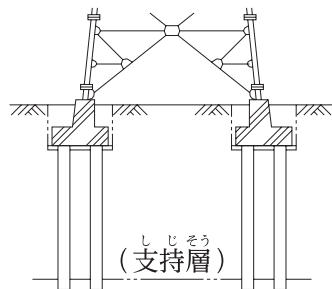
1.



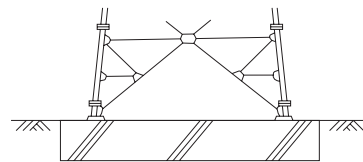
2.



3.

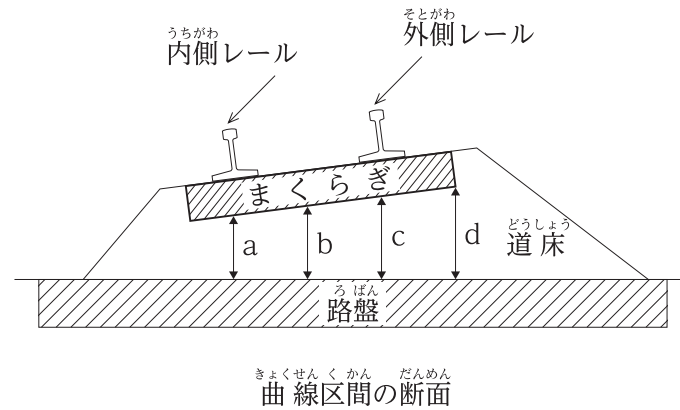


4.



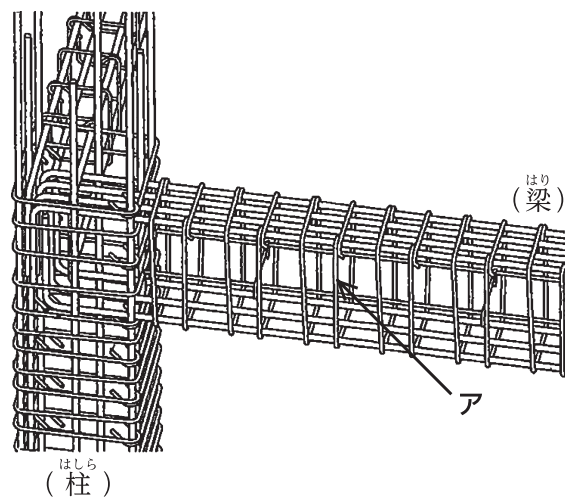
※ 問題番号 [No.30]から[No.35]までは、6 問題のうちから 3 問題を選択し、解答してください。

[No. 34] 図は鉄道の曲線区間における軌道構造の断面を示したものである。道床厚を示すものとして、適切なものはどれか。



1. a
2. b
3. c
4. d

[No. 35] 図に示す鉄筋コンクリート造の配筋図において、アの名称として、適切なものはどれか。



1. 主筋
2. 腹筋
3. あばら筋
4. 帯筋

※ 問題番号 [No.36]から[No.40]までの5問題は、全問解答してください。

[No. 36] テレビ共同受信設備に用いる配線用図記号と名称の組合せとして、「日本産業規格 (JIS)」上、不適当なものはどれか。

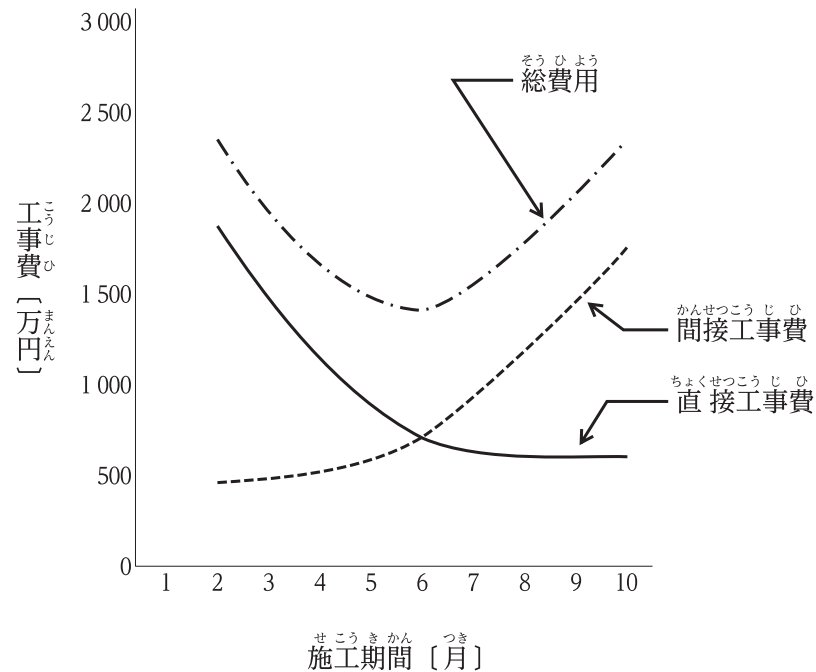
- | | 図記号 | 名称 |
|----|---|--------------|
| 1. |  | 4分配器 |
| 2. |  | 増幅器 |
| 3. |  | パラボラアンテナ |
| 4. |  | 直列ユニット(75 Ω) |

[No. 37] 建設工事における施工計画に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 総合施工計画書は、現場担当者だけで検討することなく、社内の組織を活用して作成した。
2. 搬入計画書は、資材の搬入場所、搬入方法等を資材ごとに検討し作成した。
3. 総合工程表は、週間工程表をもとに施工すべき作業内容を具体的に示して作成した。
4. 安全衛生管理体制表は、社内の災害防止活動を展開していくために作成した。
5. 労務工程表は、必要な労務量を予測し工事を円滑に進めるために作成した。

※ 問題番号 [No.36]から[No.40]までの5問題は、全問解答してください。

[No. 38] 図に示す建設現場における工事費と施工期間の関係を表すグラフに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

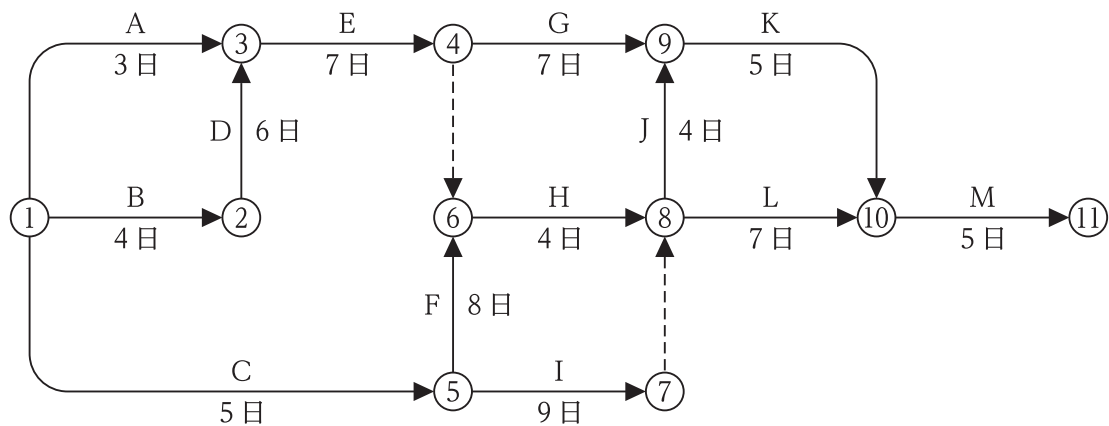


1. 直接工事費は、機器材 料 費や労務費のことであり、施工期間を短くすると増加する。
2. 間接工事費は、一般管理費等のことであり、施工期間を長くすると増加する。
3. 施工期間3か月のときの間接工事費は、約500万円である。
4. 施工期間6か月のときの総費用は、最小となる。
5. 施工期間8か月のときの総費用は、約1200万円である。

※ 問題番号 [No.36]から[No.40]までの5問題は、全問解答してください。

[No. 39] 図に示すネットワーク工程表において、クリティカルパスの日数(所要工期)として、正しいものはどれか。

ただし、○内の数字はイベント番号，アルファベットは作業名，日数は所要日数を示す。



1. 27 日
2. 29 日
3. 31 日
4. 33 日
5. 35 日

[No. 40] ISO 9000 の品質マネジメントシステムに関する次の記述に該当する用語として、「日本産業規格(JIS)」上、正しいものはどれか。

「不適合の原因を除去し，再発を防止するための処置」

1. 継続的改善
2. 是正処置
3. トレーサビリティ
4. レビュー
5. 予防処置

※ 問題番号 [No.41]から[No.50]までは、10 問題のうちから 6 問題を選択し、解答してください。

[No. 41] 次のア～エの設計図書において、公共建築工事の設計図書間に相違があった場合、優先順位の高い順に左から並べたものとして、最も適切なものはどれか。

- ア 図面
- イ 特記仕様
- ウ 現場説明書
- エ 現場説明に対する質問回答書

- 1. ア, イ, ウ, エ
- 2. ア, イ, エ, ウ
- 3. エ, ア, イ, ウ
- 4. エ, ウ, イ, ア

[No. 42] 建設工事における工程管理に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- 1. 他業者の変更工程が全てそろってから工程を見直すことで、工程管理を円滑に行う。
- 2. クリティカルパス上の作業は、重点管理する必要がある。
- 3. 施工完了予定日から所要期間を逆算して、各工事の開始日を設定する。
- 4. 工程表により、工事の進捗状況を確認する。

[No. 43] 電気工事の試験や測定に使用する機器とその使用目的の組合せとして、最も不適当なものはどれか。

- | 機 器 | 使用目的 |
|-------------|--------------------|
| 1. 検相器 | 三相動力回路の相順の確認 |
| 2. 検電器 | 充電の有無の確認 |
| 3. クランプ式電流計 | 回路の負荷電流値及び漏れ電流値の測定 |
| 4. 絶縁耐力試験器 | 高圧回路の絶縁抵抗の測定 |

※ 問題番号 [No.41]から[No.50]までは、10 問題のうちから 6 問題を選択し、解答してください。

[No. 44] 停電作業を行なう場合の措置に関する次の記述のうち、 に当てはまる語句の組合せとして、「労働安全衛生法」上、適切なものはどれか。

「開路した電路が電力ケーブル、電力コンデンサー等を有する電路で、 による危険を生ずるおそれのあるものについては、安全な方法により当該 を確実に させること。」

- | | ア | イ |
|----|------|----|
| 1. | 負荷 | 放電 |
| 2. | 負荷 | 開放 |
| 3. | 残留電荷 | 放電 |
| 4. | 残留電荷 | 開放 |

[No. 45] 作業主任者を選任すべき作業として、「労働安全衛生法」上、定められていないものはどれか。

1. 停電作業
2. 張出し足場の組立て作業
3. 型枠支保工の組立て作業
4. コンクリート破砕器を用いて行う破砕の作業

[No. 46] ディーゼル発電設備の施工に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 通気管の屋外配管は、端部に引火防止網付通気口を設けた。
2. 共通台板が振動するため、耐震ストッパを省略し、防振装置を用いて基礎に取り付けた。
3. 主燃料タンクの油面が燃料小出タンクの油面より常に高位にあったので、燃料給油管の主燃料タンクの直近に緊急遮断弁を設けた。
4. 発電機と接続するケーブルには、十分に余長をもたせて、ケーブルに張力がかからないようにした。

※ 問題番号 [No.41]から[No.50]までは、10 問題のうちから 6 問題を選択し、解答してください。

[No. 47] 高低圧架空配電線路の電柱の施工に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

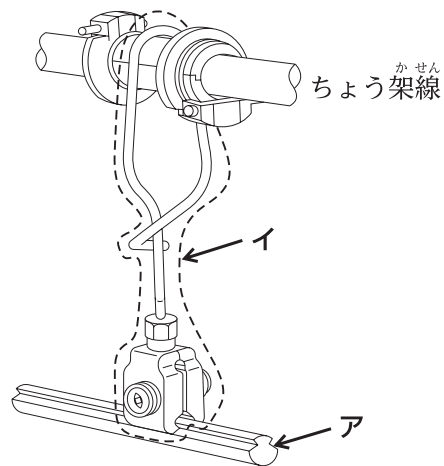
1. 支線の埋設部分には、打込みアンカを使用した。
2. 足場ボルトは、地表上 1.5 m の高さに取り付けた。
3. 設計荷重 6.87 kN、長さ 15 m の A 種鉄筋コンクリート柱の根入れの深さを 2.5 m とした。
4. 玉がいしは、支線が切断したとき、地表上 2.5 m となる位置に取り付けた。

[No. 48] 屋内に施設する金属線び配線に関する記述として、「内線規程」上、誤っているものはどれか。

1. 金属線び配線には、絶縁電線を使用した。
2. 金属線びの終端部は、閉そくして施設した。
3. 金属線び配線を、乾燥した点検できない隠ぺい場所に施設した。
4. 金属線び及びその附属品を、堅ろうに、かつ、電氣的に完全に接続し、適当な方法により造営材その他に確実に支持した。

※ 問題番号 [No.41] から [No.50] までは、10 問題のうちから 6 問題を選択し、解答してください。

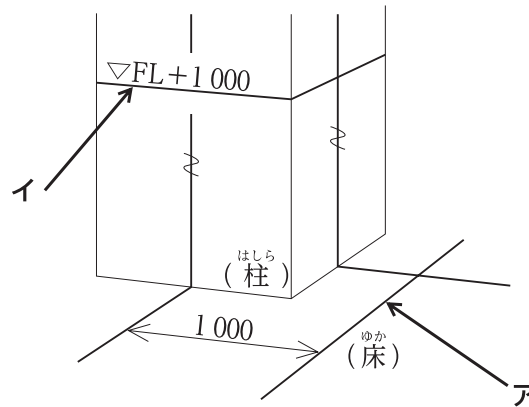
[No. 49] 電車線において、図に示す部材ア及びイの名称の組合せとして、適切なものはどれか。



- | | ア | イ |
|----|---------|--------|
| 1. | 補助ちょう架線 | ドロツパ |
| 2. | 補助ちょう架線 | ハンガイヤー |
| 3. | トロリ線 | ドロツパ |
| 4. | トロリ線 | ハンガイヤー |

※ 問題番号 [No.41]から[No.50]までは、10 問題のうちから 6 問題を選択し、解答してください。

[No. 50] 図に示す建設現場の墨出しにおいて、アとイの名称の組合せとして、適切なものはどれか。



- | | ア | イ |
|----|------------------------|------------|
| 1. | しんずみ
心墨 | ろくずみ
陸墨 |
| 2. | しんずみ
心墨 | じずみ
地墨 |
| 3. | かえ ずみ に ずみ
返り墨(逃げ墨) | ろくずみ
陸墨 |
| 4. | かえ ずみ に ずみ
返り墨(逃げ墨) | じずみ
地墨 |

※ 問題番号 [No.51]から[No.62]までは、12 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

[No. 51] 建設業の許可に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 建設業を営もうとする者は、政令で定める軽微な建設工事のみを請け負う者を除き、定められた建設工事の種類ごとに建設業の許可を受けなければならない。
2. 建設業の許可は、発注者から直接請け負う一件の請負代金の額により、特定建設業と一般建設業に分けられる。
3. 建設業者は、許可を受けた建設業に係る建設工事を請け負う場合においては、当該建設工事に附帯する他の建設業に係る建設工事を請け負うことができる。
4. 2 級電気工事施工管理技士の資格を有する者は、電気工事に係る一般建設業の許可を受けた建設業者の営業所ごとに置く専任の営業所技術者になることができる。

[No. 52] 建設業の許可を受けた建設業者が、発注者から直接請け負った建設工事の工事現場に掲げる標識の記載事項として、「建設業法」上、定められていないものはどれか。

1. 代表者の氏名
2. 現場代理人の氏名
3. 一般建設業又は特定建設業の別
4. 許可年月日、許可番号及び許可を受けた建設業

[No. 53] 主任技術者に関する記述として、「電気事業法」上、誤っているものはどれか。
ただし、事業用電気工作物及び自家用電気工作物は、小規模事業用電気工作物を除くものとする。

1. 事業用電気工作物を設置する者は、主任技術者を選任しなければならない。
2. 自家用電気工作物を設置する者は、主務大臣の許可を受けて、主任技術者免状の交付を受けていない者を主任技術者として選任することができる。
3. 主任技術者は、事業用電気工作物の運用に関する保安の監督の職務を誠実に行わなければならない。
4. 主任技術者は、事業用電気工作物を設置する者が電気工作物の保安のためにする指示に従わなければならない。

※ 問題番号 [No.51]から[No.62]までは、12 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

[No. 54] 小規模事業用電気工作物に関する次の記述のうち、☐ に当てはまる語句として、
「電気事業法」上、正しいものはどれか。

「低圧で受電している需要設備の構内に、単独で設置する太陽電池発電設備で、10kW 以上
☐ 未満のものは、小規模事業用電気工作物である。」

1. 20 kW
2. 30 kW
3. 40 kW
4. 50 kW

[No. 55] 一般用電気工作物等において、電気工事士でなくとも従事できる作業又は工事として、
「電気工事士法」上、正しいものはどれか。

1. 接地極を地面に埋設する作業
2. 電線を金属ダクトに収める作業
3. 電力量計を木板に取り付ける工事
4. 電線を埋込コンセントにねじ止めする工事

[No. 56] 電気事業者が、一般用電気工事のみの業務を行う営業所に備えなければならない
器具として、「電気事業法の業務の適正化に関する法律」上、定められていないものはどれか。

1. 低圧検電器
2. 絶縁抵抗計
3. 接地抵抗計
4. 抵抗及び交流電圧を測定することができる回路計

※ 問題番号 [No.51]から[No.62]までは、12 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

[No. 57] 建築物に設ける建築設備として、「建築基準法」上、定められていないものはどれか。

1. ガス設備
2. 汚物処理の設備
3. 避雷針
4. 誘導標識

[No. 58] 消防の用に供する設備のうち、消火設備として、「消防法」上、定められていないものはどれか。

1. 消火器
2. 防火水槽
3. 動力消防ポンプ設備
4. 不活性ガス消火設備

[No. 59] 事業者が労働者に安全衛生教育を行わなければならない場合として、「労働安全衛生法」上、定められていないものはどれか。

1. 労働者の作業内容を変更したとき。
2. 労働者を高圧充電回路の修理の業務につかせるとき。
3. 建設業の事業場で、施工体制台帳を作成したとき。
4. 建設業の事業場で、職長が新たに職務につくことになったとき。

※ 問題番号 [No.51] から [No.62] までは、12 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

[No. 60] 移動式クレーンの運転業務に関する次の記述のうち、 に当てはまる語句の組合せとして、「労働安全衛生法」上、**適当なもの**はどれか。

「事業者は、つり上げ荷重が 1t 以上の移動式クレーンの運転の業務（道路上を走行させる運転を除く。）については、移動式クレーン ア を受けた者でなければ、当該業務に就かせてはならない。ただし、つり上げ荷重が 1t 以上 5t 未満の移動式クレーンの運転の業務については、小型移動式クレーン運転 イ を修了した者を当該業務に就かせることができる。」

ア

イ

- | | | |
|----|--------|------|
| 1. | 運転士免許 | 技能講習 |
| 2. | 運転士免許 | 特別教育 |
| 3. | 施工技術検定 | 技能講習 |
| 4. | 施工技術検定 | 特別教育 |

[No. 61] 使用者が労働者名簿に記入しなければならない事項として、「労働基準法」上、**定められていないもの**はどれか。

1. 労働者の履歴
2. 雇入の年月日
3. 退職の事由
4. 基本給、手当の額

[No. 62] 道路の占用許可申請書に記載する事項として、「道路法」上、**定められていないもの**はどれか。

1. 道路の交通量
2. 工事の時期
3. 工事実施の方法
4. 道路の復旧方法

令和7年度 2級電気工事施工管理技術検定 第一次検定（後期）正答肢

< 令和7年11月9日実施 >

問題No.	1	2	3	4	4 問題は全問解答
正答肢	3	2	4	2	

問題No.	5	6	7	8	9	10	6 問題のうち 4 問題を選択し解答
正答肢	3	3	1	1	4	1	

問題No.	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正答肢	1	2	3	1	4	3	4	4	2	3
問題No.	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
正答肢	2	3	1	2	2	4	4	1	3	

19問題のうち 10問題を選択し解答

問題No.	30	31	32	33	34	35	6 問題のうち 3 問題を選択し解答
正答肢	2	4	4	2	1	3	

問題No.	36	37	38	39	40	5 問題は全問解答 【うち 問題No.37～40 は 能力問題】
正答肢	1	3	5	5	2	

問題No.	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
正答肢	4	1	4	3	1	2	2	3	4	3

10問題のうち 6 問題を選択し解答

問題No.	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
正答肢	2	2	4	4	3	1	4	2	3	1
問題No.	61	62	12問題のうち 8 問題を選択し解答							
正答肢	4	1								

配点：62問出題し、そのうち40問解答を要する試験であり、各問題1点、40点満点です。